

第8次高松市行財政改革計画（概要版）

【計画期間：令和2年度～5年度（4年間）】

1 策定趣旨

- （1）「第6次高松市総合計画」を着実に推進するためには、政策の実現を支える財政基盤と効果的で効率的な行政運営が不可欠であることから、**行財政改革計画が総合計画の推進をサポート**することが重要。
- （2）第6次総合計画の前半に当たる4年間の計画である**第7次計画の考え方や推進方策等については、基本的に継承しつつ、将来を見据えた改革に取り組む。**

2 3つの改革視点

- （1）**市民の視点に立った改革**
- （2）**経営感覚を持った改革**
- （3）**人的資源を活用した改革**

3 3つの取組方針

行財政改革の取組については、本市を取り巻く社会環境等や課題に柔軟かつ適切に対処していく必要があるため、以下の3つの方針に体系化します。

（1）持続可能な財政基盤の確立

- ア 自主財源の確保
- イ 財源の重点的・効果的な配分
- ウ ファシリティマネジメントの推進

- ・ 全庁的な事務事業の見直し
- ・ 全庁的な補助金等の見直し

（2）効率的・効果的な行政運営と人材育成

- ア ICT等の活用による業務改革
- イ 人材育成と働き方改革
- ウ 質の高いサービスの提供

- ・ ICT等を活用した業務改革
- ・ コンプライアンスの推進

（3）参画と協働によるまちづくりの推進

- ア 市民参画・協働の推進
- イ 連携の推進と広報機能の強化

- ・ ホームページの充実
- ・ SNS等による戦略的広報発信

全局共通取組項目

第8次高松市行財政改革計画（概要版）

4 計画期間内の目標

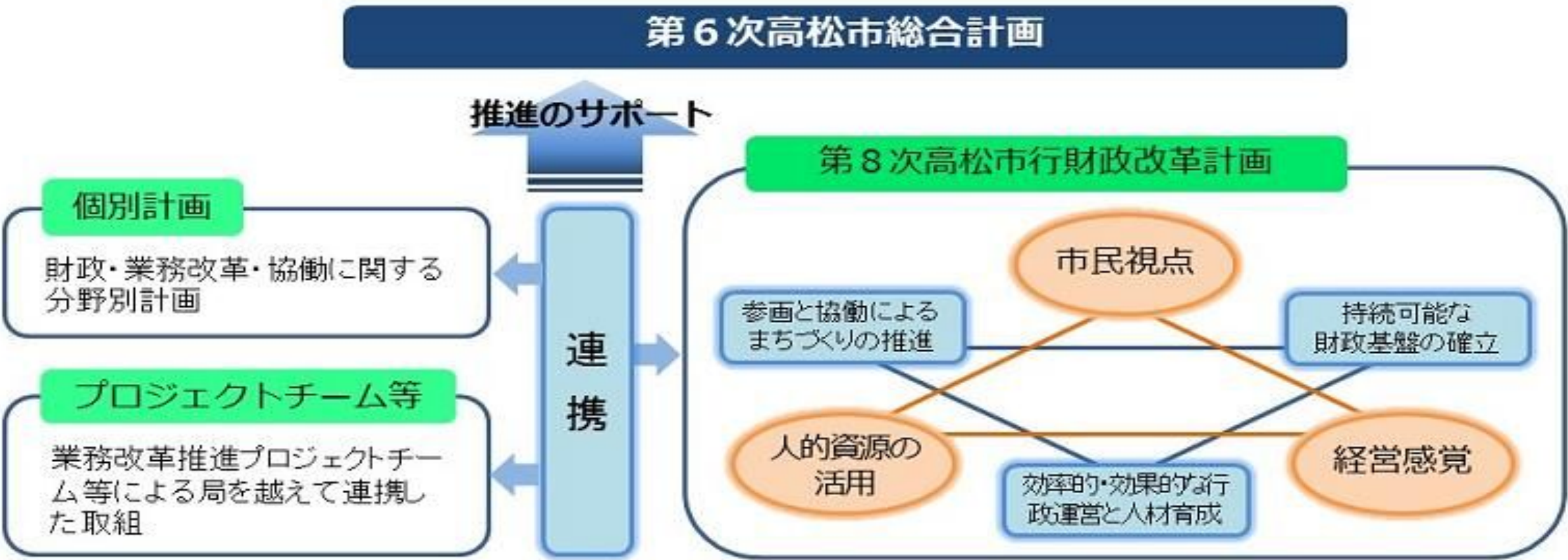
財政調整基金の取崩し額 — 決算剰余金による積増し額 ≤ 0円

計画期間内の各年度において、財政調整基金の取崩し額が、決算剰余金による積増し額を上回らないよう歳入増加・歳出削減に取り組み、基金の取崩しに頼らない持続可能な財政運営を目指す。

6 具体的実施項目

- (1) 局進行管理による実施項目 87項目
- (2) プロジェクト進行管理による実施項目 6項目

7 第8次高松市行財政改革計画のイメージ図



5 財政指標の目標値

第6次高松市総合計画の施策「効率的で効果的な行財政運営の推進」における成果指標

財 政 指 標	目 標 値
経常収支比率	92.0%
実質公債費比率	9.0%